

土佐希望の家通信

<発行>重症心身障害児者施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133
 http://www.tosakibou.jp Email:info@tosakibou.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 神田 祐子

HAPPY LIFE
 家族の窓
 No.23
 江口勝典様
 3病棟



従兄弟に感謝

江口順

私と勝典は2人だけの兄弟ですが、兄弟ともいえるひとつ年上の従兄弟がいました。祖母も姉妹、母親も姉妹という濃い関係のその従兄弟は、誰からも好かれた、勝典が兄の私よりもずっと好きだと言っていて、私を悔しがらせるくらい穏やかで優しい人でした。

はじめは母方の祖母の、同じ孫なのだから私といっしょに弟の世話をしようというの言いつけに従ったものと思われませんが、私の幼い頃の記憶の中には既に従兄弟の存在があり、友達も地区の大人たちも私たちと従兄弟を実の兄弟のようにとらえていました。

小学校も中学年以上になると、四万十川に泳ぎにも行きたいし釣りにも行きたい。弟のお守りが義務の私と従兄弟は弟を背負っていき、弟も友達の中に入っていくしよに遊びました。

しかし遊びたい盛りです。弟のお守から離れて思い切り遊びたい、そんな誘惑にもかられました。従兄弟も同じ思いです。そんなときは、従兄弟は甘えられる「兄」です。遠慮をいっていられません。

どちらが先に弟の目を盗むことができるか、です。弟の目から逃れた方が遊びに行けるのです。ですが、そこは勘のいい弟のこと、学校から帰ったときから私と従兄弟から目を離しません。夏には毎日のようにそんなバトルが繰り返されてい

ました。

小学高学年の頃の、深く記憶に残っている出来事があります。私が抜け駆けして遊びに行ったときのことです。その日はどうしても遊びに行きたかったので、学校から帰るやいなや、弟の顔も見ずに飛び出しました。それで犠牲になったのが従兄弟です。従兄弟もその日は友達と約束していたのですが、私が逃げていたの弟のお守りの役から逃げられませんか。よほどその日は友達と遊びに行きたかったのでしょうか。あんなに穏やかで人間のできた従兄弟が、60歳を過ぎてもなおその日のことを恨みがましく口にするのですから・・・。

でも、その従兄弟によって、私は全てにおいて救われていました。



ロードレース大会

5月15日、晴天の中無事にロードレース大会を開催する事が出来ました。選手たちはゼッケンを身につけ、思い思いのペースで走りきり、熱く楽しい時間を過ごすことができました！

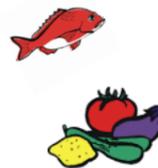


私の仕事

(21)



栄養主任 山本美保子



シンデレラになった気分、かぼちゃに魔法をかけて馬車に乗ります。私の仕事は魚や肉、野菜達に魔法をかけて幸せを送る事。馬車がかぼちゃに変わるまでに大急ぎで楽器や衣装を選びます。あなたの元へ行くまで唄を歌ったり楽器を演奏したり。いつまでも私達を待つてくださいる事を願いながら踊ります。

私が土佐希望の家に就職したのは、まだ昭和の頃。給食は集団給食と呼ばれていました。利用者様は鶏の足や頭つきの魚、エビフライなどを喜ばれていました。時代は変わり、個別対応の時代になりました。利用者様も嚙下の問題などで安全に摂取できないものが変わってきました。私は「きれいで感動を与えられることができる食事を作りたい」から、「誤嚥なく安全に食べる事が出来る食事を作りたい」に意識が変わってきました。

今、栄養、嚙下、嗜好の問題などで個別対応が求められ、給食は大嵐。私の夢も膨らんでしまっています。どうやら私は道に迷ってしまったようです。でも、いつかは又、馬車に乗り、あなたの元に夢の香を届けたら・・・。



若草養護学校土佐希望の家分校に通学されている利用者の皆さんが、このたび、「ご入学、ご卒業されました。おめでとうございます！」

卒業式

【中学部卒業生】

伊部杏里 様 (2病棟)
 今田康希 様 (3病棟)

【高等部卒業生】

大久保季 様 (2病棟)
 宗圓七 様 (1病棟)



入学式

【高等部入学生】

伊部杏里 様 (2病棟)
 今田康希 様 (3病棟)
 西森順三 様 (1病棟)



ちよつとよい話

2病棟には長先生によって季節の草花が届けられる部屋があります。部屋から出る事の出来ない方なので、少しでも季節感を味わってほしいという思いから花を届けてくれているそうです。「この花キレイですね」と話しかけると、嬉しそうに笑っているようにも見えます。また、長先生と利用者のやり取りを見ていると職員も心温まり、スタッフにも笑顔がこぼれます。

2病棟スタッフより

ご厚意



【寄付金・寄付物品】

- 森田實様 高知広告センター 後免地区社会福祉協議会様 日本自転車競技会様 高知競輪報道協会様 高知競輪場内食堂売店組合様 高知競輪競馬従事員労働組合様 福ちゃん出版社様 高知競輪事業所様 公益事業事務所様 山崎勲杯高知競輪場内募金箱様 山崎勲杯サテライト南国場内募金箱様 山崎勲杯チャリティー販売様 北村忠司様 常光倫代様 門田正坦様 日本キリスト教団高知教会様 安藝菖子様 川添義明様 SDA高知キリスト教会様 齋尾大丈夫様 山崎勲杯チャリティーオークション様 日本自転車競技会中四支支部様 小野直様 山崎伸明様 高知ライオンズクラブ様 信清美智子様 影山智子様 山崎美代子様 中屋聖子様 山根広嗣様 福原千江様 楠瀬昌子様

ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

ハッスル神社 結果報告



2月期間限定のハッスル神社は大賑わいでした☆

夢をかなえる、大ハッスルおみくじを引いた人は130人余りになり、たくさんの方の願い事が集まりました。3月4日に夢実現に向け3名の利用者が当選しました。通園の岡崎健太さんは「ピンクのすてきな車イスがほしいな」、3病棟東の小松幸幸さんは「カップラーメンを食べたい」、中城幸子さんは「私の詩に曲をつけ歌ってほしいな」でした。岡崎さん、小松さんの夢はかなえられました。中城さんの夢は現在進行中です。



次回ハッスル神社のお目見えは8月です。それまで夢をいっぱい見て、蓄えていってくださいね。



平成 25 年度 事業計画(重点目標)

法人全体

- ① 全ての職員が重症心身障害児者施設にふさわしい意識を持ち、行動が出来るように、理念と行動指針を徹底する。
- ② 医師をはじめとする職員の安定的な確保に努める。
- ③ 上司と部下の役割を明確にし、報告・連絡・相談を徹底する。
- ④ 各専門領域における技術や知識の向上に向けて研修に積極的に取り組む。
- ⑤ 与薬ミス、骨折事故の減少と、院内感染の防止に努める。
- ⑥ 3病棟療育部門(あざみ・ひまわり)の一体化を進める。
- ⑦ 大規模地震を想定した災害対策を進める。
- ⑧ 施設の狭隘化の解消に向けて検討を進める。
- ⑨ オーダリングシステムを導入する。

重症心身障害児者施設(療養介護事業所・医療型障害児入所施設)

1. 事務部

- ① 看護師等の職員の安定的な確保に努める。
- ② 移行する新社会福祉法人会計と、それに伴って変更された経理規程の理解を深め、適正な会計処理に努める。
- ③ 通園事業所及び3病棟の拡張に関する工事の円滑な実施に努める。
- ④ 大規模地震に備えて防災対策を進める。
- ⑤ オーダリングシステム(検査、訓練、栄養)の導入について、その有用性を検証し、最適なシステムの構築を図る。
- ⑥ コスト意識を持ち、経費の削減を図る。
- ⑦ 報告・連絡・相談を徹底する。

2. 医務部

- リハビリ
 - ① 重症児(者)リハビリテーションにおける専門的な知識・技術の向上に努める。
 - ② 病棟間・職員間の連携を密にし、サービスの充実を図る。
 - ③ 業務の効率を図り、増収に取り組む。

検査

- ① 円滑な業務の遂行が図れるように、検査業務を共有化する。
- ② 専門知識と技術の習得に取り組む。

薬剤

- ① 処方オーダリングシステムの円滑な運用に努める。
- ② 専門知識を習得する。

給食

- ① 食事形態の変更について、知識と技術を高める。
- ② 安全で食べやすいゼリー食の提供に努める。
- ③ 必要な栄養が摂取しやすいように更に工夫する。

3. 看護部・療育部

(1)共通

看護・療育

- ① どんなに重い障害があっても、その人らしく生きることができるよう、チームでサポートします。
- ② 利用者に向き合い、優しく話しかける看護やケアを行う。

看護

- ① 重症心身障害児者施設の看護師として、ふさわしい行動がとれるように、又、高齢化・重症化に対応できる技術や知識の研修に取り組む。
- ② 看護基準を、より解りやすいものに見直す。
- ③ 誤薬や骨折事故など、医療安全や感染予防の意識を持てるように、リスク管理に取り組む。

療育

- ① 笑顔ユニフォームに！仕事をする。
- ② 質の高いサービスを提供するために力を合わせ補いあい、チーム力を上げる。
- ③ 利用者本位の個別支援計画を作成し、実行するために研修を積極的にを行う。
- ④ 利用者との関わりは共感を大切に、一方的にならないケアを行う。
- ⑤ 土佐希望の家の「障害者虐待防止マニュアル」の作成を進める。
- ⑥ 福祉機器・用具の充実を図る。
- ⑦ 上司と部下の役割と責任を明確にし、仕事を遂行する。
- ⑧ 研修の成果を実践に繋げる仕組みを整え、OJTにも積極的に取り組み、人材育成を進める。
- ⑨ 3病棟東西の療育員の体制の統一化を進める。

(2)1病棟

看護・療育共通

- ① 生活支援基準を指針に、療育と看護で支援のあり方を検討し、統一したチームケアを行う。
- ② 高齢化に伴う機能低下や病状変化の早期発見と早期対応に努める。

看護

- ① 利用者の個別性に沿った看護を行う。

療育

- ① 個別支援計画の円滑な実施に努める。
- ② 業務の標準化を行う。

(3)2病棟

看護・療育共通

- ① 看護と療育がそれぞれの専門性を強化し、チーム医療・ケアの充実を図る。
- ② 2病棟の利用者の特殊性を理解しながら、気配りや気遣いのあるケアを行う。

看護

- ① 多様化する利用者個々のニーズを迅速に捉えながら、円滑なケアの実施に向けて業務の改善等を図る。
- ② 個別性を踏まえた個別支援計画の円滑な実施を行う。

療育

- ① 個別支援計画の作成を円滑に行い、確実に実施する。
- ② 生活支援基準をもとに取り組み、優しく丁寧な介護をする。
- ③ 利用者の笑顔が得られるように、その笑顔をパワーに仕事をする。
- ④ 福祉機器を積極的に活用し、骨折・腰痛予防を図る。
- ⑤ 常に2病棟療育指針を振り返り、「注意1秒、けが一生」を胸に、仕事をする。

(4)3病棟

看護・療育共通

- ① 報連相を順守したチームケアに取り組み、安全で安心な暮らしを提供する。
- ② 増改築中、利用者へのサービス提供に支障が出ないように努める。

看護

- ① 重症心身障害児者施設にふさわしい意識を持ち、行動が出来るように、理念と行動指針をもとに業務を遂行する。
- ② 専門領域における技術や知識の向上に向けて院内外の研修に積極的に参加する。

療育【東・西】共通

- ① 3病棟東西の療育員の体制を、25年度中に統一する。

東(あざみ)

- ① プロ意識を持ち、各自が責任ある行動をとる。
- ② 利用者のために職員が力を出し合い、チーム力をアップさせる。

西(ひまわり)

- ① 利用者に向き合い、個別の満足度をアップさせる。

短期入所事業

関係部署との連携を図り、利用希望には可能な限り応えていけるよう取り組む。

通園事業所

○生活介護・児童発達支援

- ① 増改築中、利用者へのサービス提供に支障がないように努める。
- ② より良いサービスを提供するために介護の在り方を点検し、必要な見直しを行う。
- ③ 日中活動を充実する。
- ④ 他施設や他事業所の職員を交えたケース会を実施する。
- ⑤ 福祉機器・用具を導入し活用する。
- ⑥ 地震災害時に備えた取り組みを進める。
- ⑦ 放課後等デイサービスの長期休業中の安定的な職員配置とサービス提供に努める。

相談支援事業所

○相談支援受託事業所

市町村との連携を密にし、相談支援件数の増に努める。

○指定特定相談支援事業所

サービス等利用計画、障害児支援利用計画の内容を充実させる。

○障害児相談支援事業所

サービス等利用計画、障害児支援利用計画の内容を充実させる。



太鼓や唄のリズムに反応される姿を見て心熱くなつた事を忘れず、今後も療育員として誠実に何事にも向き合えればと思います。
1病棟 療育員 岡村恵美子

私は24年度の新人祭りに参加をさせていただきました。新人研修最後の活動でもあり、今思えば新人祭りの過程こそが研修であったと感じます。先輩職員の方々に協力いただいたり、なにより当日は利用様や家族の方々に参加いただけました。

平成二十四年度 新人まつり



4月7日、土佐の国笑いと癒しの事業団の人たちが、マジックのおどろきと一緒に歌う楽しさをつくってくださり、みんなでとてもほのほのとした時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

「歌とマジックショー」

通園春の親子遠足

5月20日に通園の皆さんと桂浜へ遠足に行つてきました。

心配だった天気にも恵まれ、とてもよい天気の中、沢山のご家族の方が参加して下さい18家族の皆さんと桂浜へ行くことが出来ました。

昼食は桂浜荘で食事しました。高知の野菜やお魚を使った料理で、とても美味しくいただきました。午後からは桂浜へ。大きな海と水平線はとても綺麗で、気持ちがとてもフレッシュすることが出来たのではないのでしょうか。龍馬の像もとても迫力があり、青空をバックに皆さんと記念写真も撮る事が出来ました。「久しぶりに桂浜へ行きました。」と言う方が沢山いて、皆さんに喜んでもらえて良かったです。

短い時間でしたが、利用者、保護者、職員の交流の場でもある遠足。これからも皆さんと楽しい思い出を作る事ができるように、楽しい場と時間を提供出来るように、頑張っていきたいと思えます。遠足に参加して下さった皆さん、ありがとうございました。通園 療育員 北村知美



実践報告会

利用者サービスの質向上に向けた実践の成果や課題、全7題の発表がありました。

分校からは「重複障害児の視機能評価について」、1病棟は「転倒事故防止」、2病棟看護は「レスパイトケア」、3病棟は「浴室リフトの有効利用」、給食では「誤嚥性肺炎をなくすための食形態の工夫」、通園では「震災時の送迎マニュアル作成」と、利用者のQOLを高めるために各所属がチームで努力し、取り組んだ実践報告でした。お疲れ様でした。

歯科検診の紹介



毎週水曜日、かにたに歯科ならびに衛生士さんによる処置や検診等を実施しております。また、5月8日には「口腔ケア」の講習を実施していただき、誠にありがとうございました。

第3回総会 後援会のお知らせ

・日時 6月16日 午後5時
・場所 高知会館
☆内容☆
24年度の事業報告と25年度の事業計画について話し合いをします。終了後、創設者の山崎ご夫妻を囲み、OBや現職員、保護者、関係者等、交流を深めます。



1病棟 看護・療育 田辺和恵



山崎真歩



古川庸介



海野友恵



田中玲美



澤田温栄



和田百合恵



松本伸一



原まどか



仙頭智恵



小松孝彰



神田祐子



濱田夏佳



矢野竜太



ソニールワーカー

3病棟 看護療育

ソーシャルワーカー